

文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」認定



令和元年度 名古屋産業大学
履修証明プログラム

募集要項

女性のためのキャリアアップ
実践力プログラム



名古屋産業大学

1. プログラムの名称

女性のためのキャリアアップ実践力プログラム

2. 目的・概要

本課程はキャリアアップや再就職を考える女性を対象に経営管理の知識と能力を養成することを目的としています。

具体的には、経営管理の観点に基づいて、経営戦略・人的資源管理・会計の3領域に関する基礎理論と応用を学修し、双方向的な学びと実務家教員による実践的な学びのプログラムにより、管理職として、企業の経営課題解決に資する実践的な能力の向上を目指します。

3. 募集定員

10名【最少開講人数4名】

4. 履修資格

高等学校以上を卒業し就業経験のある女性。または就業経験のある女性で、学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者

5. 身に付けることのできる能力

- ①管理職に必要な経営企画、人的資源管理、金融・会計に関する基礎知識と実践的能力
- ②経営企画・人的資源管理・会計に関する基礎・実践能力、プレゼンテーション能力、ビジネスコミュニケーション能力

6. 開講科目及び担当者

4科目すべて必修科目

- | | | |
|-------------|-----|------------------|
| ①「経営管理概論」 | 12回 | 三宅章介（名古屋産業大学教授） |
| ②「人的資源管理演習」 | 12回 | 高濱優子（名古屋産業大学准教授） |
| ③「経営戦略」 | 12回 | 楠奥繁則（名古屋産業大学准教授） |
| ④「管理会計」 | 12回 | 富田裕平（名古屋産業大学准教授） |

※各科目1授業90分×12回（水曜1日2回、土曜3～4回） 計72時間（全48回）

※講義内容は「プログラム開講科目の概要」、詳細日程は「開講スケジュール」を確認ください。

7. 修了要件

必修4科目計72時間による60時間以上の履修及び修了認定。

修了認定者へ「履修証明書」を交付する。

8. 申込書類

- ①履修証明プログラム入学志願書（本学所定用紙）
- ②最終出身学校の卒業証明書
- ③健康診断証明書もしくは定期健康診断結果の確認ができる書類

※日本国内に在留する外国人の方は、①～③に加えて在留カードまたは住民票の写しをご提出ください

9. 申込期限

令和元年9月25日(水)(必着)

送付先：名古屋産業大学

〒488-8711 愛知県尾張旭市新居町山の田 3255-5

※簡易書留等配達記録の確認ができる方法でお送りください。

10. 受講期間

令和元年10月2日(水)から原則毎週水曜日 18:00~21:10(休憩10分含む)及び、一部土曜日に開講。

11. 受講場所

名古屋産業大学 尾張旭キャンパス (名鉄瀬戸線 尾張旭駅 徒歩7分)

〒488-8711 愛知県尾張旭市新居町山の田 3255-5

12. 費用

80,000円(内訳：検定料10,000円、入学料10,000円、受講料60,000円)

※最少開講人数に満たない場合は、検定料を返還いたします。

13. 選考方法及び受講許可

原則、書類審査により選考します。但し、必要に応じて面接を実施することがあります。

※選考結果発表

令和元年9月27日(金)までに「履修の可否」および「手続き要項」を発送します。

14. 個人情報の取り扱いについて

本課程では、「名古屋産業大学・名古屋経営短期大学個人情報保護に関する規程」に準じて個人情報を取り扱いますのであらかじめご了承ください。

出願に際して本学が得た申請者の個人情報については、選考および入学手続を行うために使用します。利用目的を超えて個人情報を取り扱うことはいたしません。

15. 問い合わせ先

名古屋産業大学 教務課 担当：林

TEL：0561-55-3076 (平日 9:00~17:00)

E-mail：kyoumu@nagoya-su.ac.jp

プログラム開講科目の概要

【経営管理概論】

授業の目標

管理とは、「共通の目的を、人々を通して達成していく過程である。」といわれていますが、これによりますと、管理は多様な人間のもつ能力を共通の目標に向かってそのベクトルを合わせることで、集団的色彩の濃い我が国では当然だと考えられるかもしれません。しかし、個人志向が強まりますとこのことは現実を帯びてきます。また、経営とはヒト・モノ・カネといういわゆる「経営の三要素」(3M)を用いて新しい価値を創造する活動ですが、そのためには、生産管理、財務管理、人事管理などの個別の管理活動を通して効率的に経営目的を達成していくことが求められます。この総体が「経営管理」になりますが、この活動のベースが、マネジメントサイクルです。この講義では、この講座を学ぶために基礎的知識を学ぶことにします。

到達目標

経営の中における経営管理の意味とその学説を学びます。人間行動は、計画、実施、統制というマネジメントサイクルによって説明できます。この考え方によって、企業経営における生産管理、財務管理、人事管理など全ての経営活動の説明ができます。そこで、マネジメントサイクルや個別管理の意味や内容を学ぶことにします。このことによって、他の管理活動を学ぶ際の、あるいは実務において、到達目標の設定、計画、実施、統制などの応用が可能になります。

管理とは目的を達成するためにあります。そのために、マネジメントサイクルの最初には目標があり、目標が達成できなかった場合には、適切な行動が求められます。その一つが「問題解決」です。そこで、目標の設定や問題解決の方法を学び、日常の活動に応用できるようにします。なお、目標の設定は、経営計画でありこれは「課題解決」ともいうべきものです。そのため、「問題解決」と「課題解決」の関係性も述べていきます。

【人的資源管理演習】

授業の目標

人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなし、その有効活用を図る施策のことである。端的に言えば、どのような人をどのような形態で雇い、どのように動機づけて働いてもらうのか、どのように人材を育成するのか、どのような処遇が適切なのか、そして、いかにメンバー全員の心の健康を保つのかといった課題を扱う。

本講義では、今後リーダーとしての活躍が期待される女性受講生という特徴に合わせた講義を展開する。人材へのマネジメント手法を体系的に理解し、働き方の多様化等、経営環境が大きく変化してきた現代において、どのような枠組みで人材マネジメントを進めれば良いかを学修し、理解する。

到達目標

「自分が将来人事担当者になった時に何をすれば良いのか」「管理職になった際、メンバーへどのようなマネジメントを行えばよいのか」といったテーマに、各人が何らかの答えを出すことを到達目標とする。

【経営戦略】

授業の目標

中小企業が持続的利益を獲得するにはどうすればよいのだろうか。その1つの方法が、「競合他社と競争しない」ことである。では、競合他社と競争せずに持続的利益を得るにはどのようにすればよいのだろうか。この講義では、競合他社と競争せずに持続的利益を得ている企業の事例（フェラーリや彩事業など）を紹介しつつ、その方法について考察、議論する。この講義を通じて、競合他社と競争せずに持続的利益を得る方法だけでなく、顧客の心理を捉える方法や、既存顧客を維持する方法についても考えられるようになってもらいたい。

到達目標

- ①競合他社と競争せずに、持続的利益を獲得するための戦略の知識の修得
- ②顧客ニーズを正しくつかみ、価値ある製品・サービスを創造するための知識の修得

【管理会計】

授業の目標

本授業は会計情報を会社内部で活用するための管理会計の基本的な内容について詳述し、企業経営における課題を財務的な観点から見つけ出し、その解決のための方向性を考えていく。

また、授業で取り入れるグループワークを通じ、一つの論点に対し複数の考え方があることを理解する。

到達目標

財務諸表を読む能力を高め、財務上の観点から当該企業の強みや弱みを見つけ出す能力を身に付け、原因となる事項について明確に説明ができること。また、財務上の課題について解決のための方向性の説明ができること。

さらに、会計情報を会社内部で活用する際に具体的にどのように活用できるか説明ができるようになること。

開講スケジュール

水曜日：2コマ ①18：00～19：30 ②19：40～21：10

土曜日：3コマ ③13：00～14：30 ④14：40～16：10 ⑤16：20～17：50

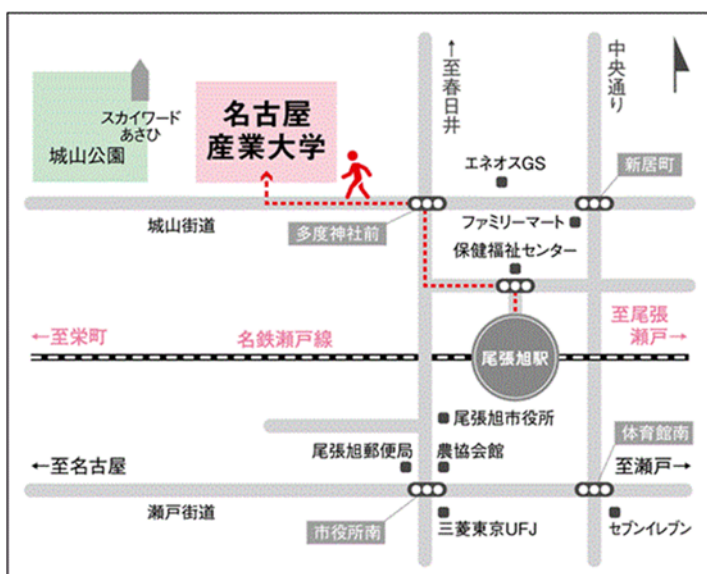
※R2/2/22(土)のみ 10：50～12：20

経営管理概論 10/2(水), 10/9(水), 10/16(水), 10/23(水), 10/30(水), 11/6(水)

人的資源管理演習 11/13(水), 11/16(土), 11/20(水), 11/27(水), 12/4(水), 12/7(土)③

経営戦略 12/7(土)④⑤, 12/11(水), 12/18(水), R2/1/8(水), 1/15(水), 1/22(水)

管理会計 1/25(土), 1/29(水), 2/5(水), 2/12(水), 2/19(水), 2/22(土)10:50～③④⑤



大学までのアクセス

- 栄から19分
栄町駅から尾張旭駅まで名鉄瀬戸線で19分
- 大曾根から13分
JR・名鉄・地下鉄の総合ターミナル大曾根駅から尾張旭駅まで13分
- 名古屋から30分
名古屋駅から乗り換え含めて30分